

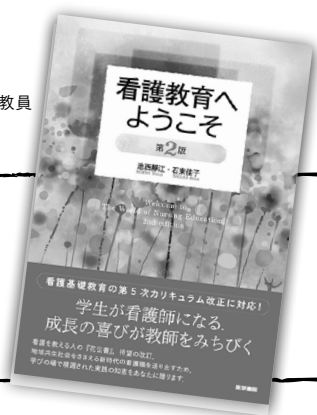


Book Review

評者: 今村 恵 鹿児島医療技術専門学校看護学科 専任教員

看護教育へようこそ 第2版

著: 池西静江・石東佳子 / 定価: 3300円(3000円+税10%)
発行: 医学書院 / TEL: 03-3817-5650



成果が見える看護基礎教育へのパラダイムシフト

これからの看護基礎教育は、大きく変わらなければいけない——。40年以上、看護基礎教育に邁進している著者たちが本書をとおして示すメッセージが胸に響く。本書の改訂版では、初版の全18章構成は変わらずに増補され、これからの社会に求められる看護基礎教育実践に必要なノウハウと、時代が変化しても変わることのない看護基礎教育の本質が惜しみなく語られている。

超高齢・多死社会、生産年齢人口減少など、さまざまな問題をかかえるわが国の社会変化に対応できるよう、看護基礎教育では2022(令和4)年の施行に向けて保健師助産師看護師学校養成所指定規則の第5次改正が行われ、看護師等養成所の運営に関するガイドラインの一部改正も行われた。厚生労働省で開催された看護基礎教育検討会に構成員として参加した著者は、「看護師ライセンスがあれば仕事に困らない時代はそろそろ終わりを迎える。地域に必要とされる看護職者を育成できるか、社会に貢献できる人材育成ができるかが学校、養成所の存続にもかかわってくる」と明快に述べ、地域のニーズに応えられるカリキュラム編成や教育方法を駆使し、成果が見える看護基礎教育へのパラダイムシフトを強く訴えている。

教育現場の大ベテランである著者から語られる看護教育のやりがい(第1章)や、看護学校のおもしろさ(第

2章)、さらに第8章での、現代を象徴するSNSへの対応やシングルマザー、LGBT、障害をもつ学生への対応などの具体的な記載は、看護基礎教育に携わる誰しもが共感、納得でき、実践への一助となる。そしてなによりも、本書から最も伝わってくるのが著者たちの看護基礎教育に対する「情熱」と、看護基礎教育に携わる人々を支援したいという「愛情」、看護基礎教育の道を選んだ仲間たちがこれからも看護教員であり続けられるようにという「願い」である。

じつは、看護教員として7年目を迎える私が今もこの仕事を続けられているのは、2015年に刊行された本書初版、そして著者に会ったからである。この世界で働き始めた頃、私の臨床で培ったキャリアは通用せず、看護師としてのプライドも、看護への信念も揺らぎだし、看護基礎教育の世界ではやっていけないと感じていた。そんなとき、本書初版の第4章に記された「看護教員の心得」を目にし、この世界に踏みとどまることができた。今でもこの「心得」と著者の存在が、私の心の拠りどころとなっている。

著者たちの看護基礎教育への情熱と、次世代を担う看護教育へ携わる人々に向けた愛情や願いがぎゅっと詰まっている本書を、新任教員はもちろん、中堅や管理職級の全看護教員、そして看護師として活躍されている方々にもぜひ読んでいただきたい。